

海風宣言

私たちは今、愛する福島の海の前に立っています。



北はベーリング海から千島列島、北海道の東を通って南下する栄養豊かな親潮と、暖かな南の海、フィリピン、台湾の東方から大陸棚に沿って勢いよく北上する黒潮は、キラキラと力強く泳ぐ魚たちをのせて、ここ福島県沖で出会い、東へと向かう豊かな潮目の海となります。この海は、全地球に拡がり、世界をつないでいます。

はるか46億年の地球の歴史の中で、奇跡のように水を満々とたたえた海が現われ、何百万もの生物種を生み出し、育んできました。しかし、この歴史の中でつい最近に登場した私たち人間の活動が、今、この大切な海と地球の生態系を危機に追いやっています。地球規模の気候変動と海面上昇、海の酸性化、海洋資源の枯渇、海の砂漠化が進んでいます。そして、プラスチックや化学物質、放射性物質などにより、永続的な汚染がますます深刻になっています。

13年前に起きてしまった東京電力福島第一原子力発電所発の事故は、今もなお続き、取り返しのつかない放射能汚染を引き起こしてしまいました。さらに昨年夏、ALPS処理汚染水の海洋投棄が始められ、たった今も、7回目の投棄が進められています。ALPSで処理されても、海水で薄められても、放射性物質の残るものを海に流し続けることは決して許されることではありません。そしてこの海洋投棄と軌を一にして、原発の推進と軍備拡大という不穏な流れが今、進められていることは、世界を破壊へと導く危険を高めています。

「海の日」の今日、私たちは、傷つけてもなお恵みを与え続けてくれる海に、心からの感謝を捧げます。

そしてこの海風にこたえ、私たちは誓います。

私たちは、海といのちを守るために、手をつなぎ、本当の声をあげていきます。

そしてもっともっとたくさんの人々の本当の声を聴き、信頼の手をつないでいきます。

そうすれば、私たちはより深い知性と行動で、この危機を乗り越えていくことができるに違いありません。

私たちは、いのちの未来へと向かう力強い潮流を、ここ福島から、起こしていきましょう。

2024年7月15日

海の日アクション2024 海といのちを守るつどい 参加者一同

